

「日向市総合体育館整備基本構想」(案)に関するパブリックコメントの実施結果 及び市民説明会等のご意見について

令和元年 11月 25日

日向市長 十屋 幸平

「日向市総合体育館整備基本構想」の策定にあたり、パブリックコメントと併せ市民説明会を開催し、市民の皆さまから広く意見を募集し、貴重なご意見をいただきました。

その結果とご意見に対する市の考え方について、下記のとおり、お知らせいたします。

1. パブリックコメント

- (1) 募集期間 令和元年 11月 1日 (金) から 11月 21日 (木) まで
- (2) 公表場所 日向市役所 資産経営課及び各支所、市のホームページ
- (3) 提出者数 4名

2. 市民説明会

- (1) 実施期間 令和元年 11月 5日 (火) から 11月 14日 (木) まで
- (2) 会場及び参加者数

日程	会場	参加者数
11月 5日 (火)	中央公民館	5名
11月 6日 (水)	大王谷コミュニティセンター	10名
11月 7日 (木)	日知屋公民館	14名
11月 8日 (金)	南日向公民館	9名
11月11日 (月)	財光寺南地区まちづくり事務所	11名
11月13日 (水)	美々津公民館	9名
11月14日 (木)	東郷公民館	6名
計		64名

3. 日向市体育協会

日向市総合体育館整備基本構想 (案) に対する要望書 (令和元年 11月 12日)

※いただいた意見について、一部要約している場合があります。

※同様な意見の場合は、市の考え方をまとめて記載しております。

1 パブリックコメント

番号	該当ページ	項目の内容	意見	ご意見に対する市の考え方
1	P12	4 総合体育館に備える基本的機能	<p>他県の総合体育館に行った際に、下記のように施設が充実していた。</p> <p>①男性のトイレにも、乳幼児のおむつ替えができる所があった。</p> <p>②1階の更衣室とは別に2階の女子トイレに、個室スペースが5個設置されていた（カーテン仕切り）。着替えや授乳室として利用されていた。</p> <p>身体障がい者・幼児・妊婦用等のトイレもあるが、一般の方が使っていたりすることから、気を使って使用できないときもある。また、トイレには、折りたたみ式の足置場があると助かる。</p> <p>小さいお子様を連れての大会応援等、あるとみんな助かり、行きやすいように、環境造りから考えてほしい。</p> <p>新しく安全な、市民の皆さんが使いやすい体育館ができることを楽しみにしている。</p>	<p>子どもから高齢者、障がい者の方までユニバーサルデザインに配慮した施設とすることは、体育館整備にあたっての重要な視点であり、トイレや更衣室等の詳細な機能については、今後の基本計画、基本設計の中で検討します。</p>
2	P13～P15	1 施設規模 2 建設場所	<p>市民の誰もが日常的にスポーツを楽しむ為には、現在の体育館の場所に建設するのが最良だと思う。将来の人口減少を見据えた利便性の良い場所をお願いしたい。</p> <p>防災性は、市庁舎にお願いすれば良いのでは？延岡に対抗する必要はないと思う。</p>	<p>整備場所については、大王谷と市街地において、拠点性、経済性（用地、財源）、防災性、利便性の各視点で比較検討した結果、市街地では、利便性など一部の観点ではメリットがありますが、経済性をはじめ多くの観点で大王谷に優位性があると判断しました。今後、ぷらっとバス等を活用した大王谷運動公園へのアクセス等、利便性の向上についても、検討します。</p> <p>また、防災性について、市庁舎は、災害発生直後の一時避難場所として位置付けており、総合体育館は、発災後の中・長期的避難所として活用することを想定していることから、担う役割は異なるものと考えています。</p>
3	P13 P21	1 施設規模 ■レイアウト	<p>施設規模は、原案のままでテニスコート2面設置できるので、テニスコート2面用の支柱立て（縦横両面可能なように）を埋設してほしい。市内では、インドアで試合、練習をする場所がなく、県、九州、全国大会出場時の練習ができない。天候を考慮せず、練習、試合の計画ができるようになる。</p>	<p>アリーナを使用する際に必要な機能については、各競技団体から、備品等を含め、様々な要望があると想定しておりますが、利用頻度、全体事業費の視点も考慮しつつ、今後の基本計画、基本設計の中で検討します。</p>
4	P14 P18	2 建設場所 3-2 駐車場	<p>「大王谷運動公園入口」バス停はあるが、バス停からの坂道は、かなりきつい。駐車場あるいは施設前までのルートを新設して、バス停を増やしてほしい。バス停場所を設計の段階で考えてほしい。</p> <p>また、駐輪スペースが不明。屋根付駐輪スペースを十分に確保してほしい。現体育センターのスペースでは、中体連等大会には不足している。屋根がないため、帰りは濡れたレインコートを着て帰らざるを得ない光景を見る。</p>	<p>自家用車以外で訪れる利用者について、大王谷運動公園へのアクセス等、利便性の向上は重要な視点であることから、ぷらっとバスの施設への乗り入れや駐輪場の整備等を含め、今後の基本計画、基本設計の中で検討します。</p>

※ ご意見を受けての本基本構想（案）の修正はありません。

2 市民説明会

番号	項目1	項目2	意見	ご意見に対する市の考え方
1	コンセプト	利用主体	コンセプトに県大会等が実施できるような施設整備とあるが、市民のためなのか、県民のためなのか。	あくまでも市民利用が主体ですが、地区大会レベルの各種大会時の活用も見据えたコンセプトにしています。
2	機能	観客席	観客席が500席程度とのことだが、観客席がなければ、その分有効なスペースができて、その他の機能を入れることができるのではないかと。観客席がいるのか。	各種地区大会等の応援席および選手の休養、待機スペースともなることから、一定規模の観客席は設ける方針としています。客席数は、施設平面レイアウトを具体化する段階（基本設計時等）で、検討します。
3		防災	防災の拠点として、非常用電源等も整備する方針とのことだが、障がい児の呼吸器等にも電源は必要なので、整備してほしい。	非常時電源については、設けることとしています。その設備スペックについては、今後、基本設計時に検討します。
4			新しい体育館は、地震や風水害にも耐えられるような強度を保ってほしい。	災害時の避難施設としての役割も担うことから、地震、風水害に耐える施設を建設することは、必須条件となります。屋根構造については、災害に強く、将来的にも雨漏り等が発生しない構造を、今後、検討します。
5			防災の拠点とのことだが、最近の台風で、他自治体の避難場所では雨漏りがあったと聞いているが、屋根の構造等はどのように考えているのか。	
6		ユニバーサルデザイン	障がいのある子どもがいるが、エレベーターやトイレは、障がい者用バギー等も入れるような広さが確保してもらえるのか。	障がい者をはじめ、小さなお子さんから高齢の方など、利用者にやさしいユニバーサルデザインを取り入れた施設を目指すこととしています。取り入れる機能については、今後、コストバランス面にも配慮しつつ、基本設計時以降に検討します。
7			トイレには、多機能ベッドも備えてもらえるのか。	
8			ユニバーサルデザインに配慮した体育館にしてもらいたい。	
9			観客席も障がい者席を設けてもらえると思うが、障がい者用バギー等では見づらい施設もあるので、配慮してほしい。	
10		出入口	体育館の入口は、雨天時にも車の乗降ができるような屋根になるのか。	雨天時の乗降場所の施設のあり方については、今後の基本設計時に、具体的に検討します。

11	機能	木材利用	木材を活用する想定はあるのか。	安全・安心な施設づくりを前提として、可能な限りのコスト削減を図ることは大きな課題ではありますが、木材（地域資材）を内装の一部等に利用する検討を、今後の基本設計時に行います。
12		空調	バレーの指導をされており、現在の体育センターは老朽化しているので、ぜひ、新たな体育館を建設してもらいたい。アリーナの空調はどのように考えているのか。現在、夏場のエアコンなしでの練習は考えられない。	夏季に熱中症が頻発して発生する昨今の気象状況や、体育館が中長期の避難所としての利用もあることから、空調設備は備えるべき機能と整理しています。
13		外構照明	大王谷は、照明が少なく、夜暗いが、そのような対応はどのように考えているのか。	利用者の安全・安心な施設づくりは、前提条件であり、今後の、基本設計時に具体的に検討します。
14	規模	規模の適性	大会等のための施設規模が必要なのか。市民のニーズとあっているのか。	市民の日常利用を施設利用の核としていますが、中体連などの各種地区大会での活用も図りたいニーズ（声）は届いており、市民検討委員会の中でも施設規模について概ね共有していることから、本構想の規模で整備を進めたいと考えています。 参考までに、本構想の規模は、県内9市の同様施設と比較しても、小さい施設規模の分類となり、延岡市に県が新たに整備する体育館の規模と比べると、アリーナ床面積で約5分の2、観客席では約1/4程度で、あくまでも市民利用に軸足をおいた適正な規模と判断しています。 また、旧警察署跡地や現体育センター位置での建設についても検討しましたが、経済性が劣ることに加え、現体育センター規模程度しか建設できない、駐車場が確保できない等の物理的要因により、建設地としてそぐわないと判断しました。
15			財政状況が厳しい中、多額の費用で整備する必要があるのか。施設規模を小さくして身の丈にあった規模でいいのではないのか。	
16			近年、体育センターの利用者数、水泳場の利用者数等が減少しているが、将来的な人口減を見据えた中で、想定されている施設規模が必要なのか。	
17			延岡に県立体育館が建設されるのに、日向に大きな体育館が必要なのか。	
18			延岡に県立体育館が建設される中で、学校の体育館の改修等による対応は検討しなかったのか。30億～40億かかるとのことだが、耐用年数等も考慮して、コスト計算しているのか。	
19			なぜバスケ2面の広さが必要なのか。旧警察署跡地で入る広さで整備すれば、建設費も抑えられるのではないのか。	
20			これほどの規模が必要なのか。人口減少する中で、10～20年後にフル活用されるのか。	
21			耐用年数	

22	場所	アクセス道路の冠水	大王谷に近い国道10号線は、大雨の際に冠水するが、どのように考えているのか。	体育館は、中長期の避難場所としての活用を予定していますが、大王谷運動公園にアクセスする国道10号は、庄手川の河川改修が済んで以降、豪雨時に冠水による通行止めになる状況は、ほとんどなくなっています。
23			大王谷運動公園は便利が悪い。大王谷付近は、大雨時に冠水するし、日向市の端のほうに、そのような施設が必要なのか。	
24			大王谷付近は、大雨のとき冠水するし、美々津方面からであれば、その途中も冠水して、大王谷まで行けない場合もあるが、どのように考えているのか。	
25		施設の代替	大王谷運動公園プールの代替場所をどのように考えているのか。	市内学校プール等の代替え利用や利用者のフォローについて、今後、関係機関と検討します。
26			プールの代替場所として、もっと河川プールを整備してはどうか。	
27			プールがなくなると子ども達が泳げる場所がない。代替場所をどのように考えているのか。	
28			プールを廃止することだが、プール利用者への代替案等の考え方はどうなのか。	
29			最近の県外の災害では、がけ地での土砂くずれ等が相次いでいるが、大王谷運動公園予定地の地盤は大丈夫なのか。水泳場以外の代替案もあるのか。	
30		大王谷の芝生広場を駐車場にすることだが、芝生広場を利用しているグラウンドゴルフの方等と協議したのか。	現在、芝生広場は4団体が利用しており、その団体に整備計画を説明したところですが。体育館整備後の利用場所については、今後、協議していくこととしています。	
31		建設候補地	整備場所について、大王谷、市街地以外でも候補地はあったのか。また、その場所について検討したのか。	本構想の基礎となっている「日向市スポーツ施設整備基本構想（平成30年5月策定）」において、整備候補場所を、大王谷、市街地、お倉ヶ浜の3か所としていましたが、お倉ヶ浜については、津波浸水区域にあることから、今回、候補から外し、大王谷と市街地で比較検討を行いました。
32			塩見地区は、検討しなかったのか。	

33	場所	建設候補地	整備場所について、東郷地域は検討されなかったのか。	現時点において、そのような具体的な計画はありません。	
34			財光寺公民館建設が予定されているところはどうなのか。		
35			整備場所について、大王谷運動公園の野球場をなくして、お倉ヶ浜に野球場を整備という話を聞くが、どうなのか。		
36		建設候補地 (市街地)	体育館の整備は、賑わいの創出のチャンスではないか。大王谷より市街地の方がいいのではないか。		大王谷と市街地でさまざまな視点で比較検討した結果、市街地では、利便性など一部の観点ではメリットがありますが、経済性をはじめ、多くの観点で大王谷に優位性があると判断しました。
37			市役所も防災の拠点のため、規模を見直して、市街地に整備した方がいいのではないか。		
38			大王谷で決定しているようなイメージだが、現在の体育センターが市街地にあるからこそ利便性が高く、利用者が多いのではないか。大王谷に整備すると利用者は減少するのではないか。		
39			大王谷は郊外で、今後、高齢化が進む中で、高齢者等の移動では不便である。市街地で整備する考えはないのか。		
40			普段からバレーで体育センターを利用しており、老朽化の状況も理解している。場所についても、財源や規模、南海トラフ地震で避難できる高台となると大王谷しかない。規模については、いろいろな機能を入れすぎると建設費が上がるので、身の丈にあった施設でいい。財源を確保しながら、南海トラフに備えた規模を考慮して建設してほしい。		
41			大王谷が前程の構想なのか。現在の市街地より、美々津方面から離れることになるが、どのように考えているのか。		
42			大王谷に決定したような話の進め方は、おかしいのではないか。市役所も津波浸水区域に新たに建設しているのに、なぜ、市街地ではだめなのか。利用者も市街地だから多いのではないか。		

43	場所	アクセス	利便性の面から、ぷらっとバスも大王谷運動公園内まで入れるようにしてほしい。	自家用車以外で訪れる利用者の利便性を考慮し、今後、前向きに検討します。
44	事業費		事業費が、具体的に示されていないが、どのように考えているのか。	基本構想では、整備コンセプト、備える機能、建設場所等についての方角性を定めるものであることから、概算事業費の積算は困難であるため、今後の基本計画、基本設計時に算定することとしています。
45	利用状況		現在の市体育センターの利用状況は、どのようになっているのか。	開館日は、ほぼ予約で埋まっている状況で、年間約5万人の方が利用しています。
46	レイアウト		武道場は、サブアリーナとして兼用するのか。	武道場をサブアリーナとして兼用し、各種球技の利用を前提とした場合、武道場としてのみの利用時と比べ、天井高さが必要となるので、コスト的な判断も含め、今後、更なる検討を行います。 仮に、サブアリーナとしても利活用する場合は、利用する球技団体が、常設している畳の一時撤去、現状回復を行うことを想定しています。
47			武道場を整備するとのことだが、サブアリーナ的に整備した場合、柔道等で使用する場合の考え方はどうなのか。	
48			規模や図面はバスケットで記載されているが、バスケットを前面に出しすぎではないか。	アリーナを使用する球技の中で、バスケットが最も広い面積を必要とすることから、規模を示す際の代表例として記載しています。
49			大王谷運動公園のプールと芝生広場は段差があるが、どのように整備していくのか。	現状2.5mほどの段差がありますが、日常利用における駐車場からのアクセスなどを考慮し、今後、基本設計時に、段差を縮める敷地造成の手法を検討します。
50	その他	使用料	新たな体育館が出来た場合、使用料はどのように考えているのか。あまり高くなると、利用が厳しくなる。	今後、市民利用にあたって親しみのある施設づくりを目指しつつ、施設の運用面についても検討します。
51		他施設の活用	文化交流センターの活用をどのように考えているのか。	交流センターの基本スタイルは、客席のある舞台観覧がメインとなっている現状から、アリーナとして、スポーツのための利活用としてはサブ機能としての利用形態であると考えています。

3 日向市体育協会 日向市総合体育館整備基本構想（案）に対する要望書

項目	意見	ご意見に対する市の考え方
施設規模	<p>【日向地区バスケットボール協会】 現在の構想案はバスケ2面であるが、大会誘致・運営にはバスケ3面が望ましい。バスケ3面あればハンド2面・フットサル2面も可能となり、幅広い競技の利用ができる。一方、武道場をサブコートにする案ではハンド・フットサルはできないので、やはりメイン3面の広さが望ましい。</p>	<p>「日向市スポーツ施設整備基本構想」では、国体等の活用を想定し、アリーナ面積を2,400㎡（バスケットボール3面又はバレーボール4面）としていましたが、今回、総合体育館に特化した基本構想策定にあたり、以下の理由により規模の見直しをしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本コンセプトである市民の日常的な利用に重点を置いた施設とすること ○現在の体育センターの利用状況 ○地区大会や県大会等の大会に対応できる施設とすること ○隣地の延岡市に県立体育館が整備されることから、大規模な大会については県立体育館の活用が想定されること。 (メインアリーナ：バスケット3面、サブアリーナ：バスケット2面) ○整備場所として、大王谷運動公園水泳場敷地を想定していることから、敷地内に建設可能な規模とすること ○県内他市の体育館の施設規模 ○本市の財政状況や財源 <p>様々な競技において、大規模な大会の誘致、運営を行うにあたり、バスケット3面又はバレー4面の規模が望まれていることは認識していますが、上記理由による庁内検討委員会や市民検討委員会等での検討、意見を踏まえ、バスケット2面又はバレーボール3面相当の規模としています。</p> <p>武道場については、体育館に併設する柔道場1面、剣道場1面の規模を想定しており、武道場の拡張は難しいことから、ご意見のとおり、大会時に、畳をアリーナ部分に敷いて使用することを、今後、検討します。 また、武道場のサブアリーナの整備や諸室等を含め、詳細については、今後の基本計画、基本設計の中で検討します。</p>
	<p>【日向地区バレーボール協会】 現在の構想案はバレー3面であるが、大会運営を考えるとできれば4面が望ましい。メインコートが3面しか取れないのであれば、武道場をサブコートとして活用できると良い。</p>	
	<p>【日向市ミニバレーボール協会】 現在の構想案はミニバレー8面だが、大会運営を考えるとできれば12面あると良い。(バスケで言うと、バスケ3面の大きさが望ましい。)</p>	
	<p>【日向市ハンドボール協会】 公式コートは20m×40mで構想案は1面しかとれず、1面では大会が開催できないため、2面とれる大きさが望ましい。 (コート間を考慮すると、50m×50mの広さが望ましい。)</p>	
	<p>【日向市なぎなた連盟】 広さは公式2面とれるため、案の内容が良いが、防具の長さが2.5mあるので、入口ドアはそれ以上の高さがあると良い。また、型などを見るため、壁一面に鏡が設置してあると良い。</p>	
	<p>【日向市太極拳協会】 大会運営の面を考えると50m×50mの広さが望ましい。</p>	
	<p>【日向地区柔道会】 案の武道場は大会運営には狭く、公式2面とれる14.55m×29.1m以上の大きさが望ましい。武道場にもトイレや更衣室・会議室・備品収納庫が必要。床は弾力性のものにし、天井は圧迫感がないような高いものが望ましい。武道場の拡張が難しい場合は、大会時に公式2面分の畳をアリーナ部分に敷いて使用できることが望ましい。(畳の購入と保管庫が必要)</p>	